

2 食育の推進に向けた取組

(1)食事作り力を高め、心身ともに健康を支えます

ライフステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの実施
					R6年度の対象者、事業名、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、朝食を食べます。</li> <li>・1日2回以上「主食・主菜・副菜」をそろえた食事をします。</li> <li>・大人も子どもも、しっかり副菜料理を食べます。(大人は1日5皿以上)</li> <li>・減塩に取り組みます。</li> <li>・よく噛んで味わって食べる習慣をつけます。</li> <li>・災害に備えて家族人数分の3日分以上の食料・飲料等を備蓄します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食や「主食・主菜・副菜」をそろえること、副菜をしっかり食べること、減塩の重要性について、広報紙や市公式ホームページなどを活用して情報発信するとともに、学習の場を提供します。</li> <li>・副菜料理の摂取量アップと減塩について、関係機関、団体と連携して取り組みを進めます。</li> <li>・関係課、関係団体、市民のネットワークを広げ、連携、協力して食育に取り組む事業を支援します。</li> <li>・備蓄に望ましい食料・飲料等の情報を提供します。</li> </ul>	狭山市ビジネスサポートセンターにおいて、食育に取り組む事業等を支援していきます。 狭山市ビジネスサポートセンターにおける相談件数(飲食業・農林水産業):120件	5	産業振興課	実施していない	
	商工会議所を通し、生鮮三品(鮮魚・肉・青果)組合が行う共同販売事業を支援します。(平成30年で事業終了し、現在は該当なし)			該当なし	1	商業観光課	実施していない	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主食・主菜・副菜」を基本とした給食を提供し、献立表や給食だよりを公式ホームページ上で情報発信をしています。</li> <li>・味付けは大人の8割程度の薄味を基本とし、食材の味を感じられるよう配慮した調理を心がけています。</li> <li>・埼玉県保育所栄養士研究会に参加し情報共有を図ります。</li> <li>・3日以上の水・食料の備蓄を確保し、賞味期限等の入れ替え時は給食で使用・園児の前でα米を調理して見せるなど計画的に対応しています。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食だより・献立表 年12回</li> <li>・調理会議 年6回</li> <li>・献立会議 年6回</li> <li>・埼玉県保育所栄養士研究会参加</li> <li>・市栄養士協議会参加</li> </ul>	5	保育幼稚園課	実施していない	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期から味覚を育てるため、給食は素材の味を生かし薄く味付けされています。</li> <li>・薄味、素材の味を生かした調理方法を取り入れ、保育参加などで保護者に試食や給食の提供・給食だよりなどで発信し食育の大切さも伝えていきます。また保育参加時には、アンケートに味付けや量等の感想を記入してもらい、参考にしています。</li> <li>・栄養素表を作成し、毎日の給食献立を読み上げながら、食材がどの栄養素に当てはまるのかを、子どもと一緒に考えながら行いました。主食、主菜、副菜のバランスの良い食事が、元気な体と心を作ることを伝えていきました。</li> <li>・災害用食料等の備蓄品の確保と有効期限の確認を行い、防災時の経験として、防災食を食す経験をしています。</li> <li>・毎日各クラスの給食の食べ具合等を調理員と確認し、次回に活かしています。</li> <li>・職員、調理員と案検査を行っています。</li> <li>・園庭の中にある畑に子どもと種や苗を植え育て、収穫します。また、収穫した作物でクッキングをし、食することを楽しみます。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・慣らし保育試食(新入児)</li> <li>・保育参加(1~5歳児保護者)年1回</li> <li>・懇談会年2回</li> <li>・給食だより、献立表 月1回</li> <li>・各クラスより 随時</li> <li>・栄養素表は毎日用いて、啓蒙(全クラス)</li> <li>・防災食経験 年1回</li> </ul>	5	保育所	実施した	
	「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムの大切さを懇談会、長期休業前後の始業式、終業式等で保護者に直接伝えます。また、朝食の欠食の状況を把握し、午前中の活動量の低下等、幼児の姿を通してデメリットを個別に保護者に伝え、毎日朝食を食べさせるように促します。			懇談会4回 始業式、終業式6回 園だより、クラスだより12回 年少組保護者対象弁当参観1回	4	入間川幼稚園	実施した	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弁当参観を実施し、食事の摂取量、好き嫌いなど個人差があるので、保護者が幼稚園での食事の様子や内容を見てもらい、個別に食事の大切さを知らせます。</li> <li>・昼食時の食事指導では、よく噛むことや食事のマナーや楽しく食べることを幼児に知らせます。</li> </ul>			年少保護者対象弁当参観1回 全園児昼食時	4	水富幼稚園	実施していない	
	出前講座等の一般介護予防事業において、自身の食生活を振り返る機会を提供し、食生活の改善や筋力アップを図るために、規則正しい食生活、バランスの取れた食事の重要性を伝えます。			出前講座 開催回数:延べ153回 参加人数:延べ2556人	5	介護保険課	実施していない	

2 食育の推進に向けた取組

(1) 食事作り力を高め、心身ともに健康を支えます

ライフ ステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの 実施
					R6年度の対象者、事業名、 参加者数や事業実施回数 等の実績数	達成度 5点満点		
全 体	11			健康診査実施後、受診者の方が食生活の改善を図る取り組みへつなげるためのリーフレットを配付します。	【リーフレットの配付】 特定健康診査及び高齢者 健康診査の受診者全員に 配付 特健診受診者： 約 9,700枚 後期高齢者健康診査： 約10,000枚	4	保険年金課	実施していない
				市民自身の食生活を振り返る機会を提供し、食生活の改善を図るため、健康づくり講座を通じて、規則正しい食生活、バランスの取れた食事の重要性を伝えます。	健康マイレージ登録会54回 SAYAMA Wellness Journey(さやまウェルネス ジャーニー)3回	5	健康づくり支援課	実施した
				バランスの良い食事、副菜摂取量アップ等に関する情報媒体により、広く啓発します。	保健センターに懸垂幕の設置(1カ月間/年)、食品販売店でのPOPの掲示(掲示依頼5店舗)、市役所内コミュニケーションによる啓発(1カ月間/年)	4	保健センター	実施していない
				・防災講座等を通じて食料・飲料等の備蓄を促します。 災害に備えて、家族の人数×3日分の食料品の備蓄を推奨するとともに、備蓄品は空腹を満たすために、炭水化物が中心となり、栄養が偏りやすいため、不足しがちな栄養素(タンパク質、ビタミン・ミネラル・食物繊維)を補うために必要な食品を具体例とともに紹介します。	令和6年度防災講座実施回数:22回 延べ参加人数:約650人	4	危機管理課	実施していない

2 食育の推進に向けた取組

(1) 食事作り力を高め、心身ともに健康を支えます

ライフ ステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの 実施
					R6年度の対象者、事業名、 参加者数や事業実施回数 等の実績数	達成度 5点満点		
				子どもお弁当教室(講師:保健センター管理栄養士)を開催し、主食・主菜・副菜をそろえたバランスの良いお弁当の基本を学ぶ場を提供します。	開催回数1回(奥富公民館調理室) 参加者11名	4	奥富公民館	実施していない
				キュービー(株)による健康教室。食事をする大切さや高齢期の食事の摂り方を分かりやすく解説しました。	事業名 第4回ひだまり学級「野菜を楽しみもつと健康に！」 対象者 市内在住の65歳以上の方 参加者数 7名 事業実施回数 1回	5	新狭山公民館	実施した
				地域児童の学び・遊び・食の事業の中で、地域の大人と子どもと一緒に食事しながら世代間交流を図り、正しい食卓のルールやマナーを会食する機会を提供します。	WAKU☆DOKIはっぴーを実施 水富公民館会場11回/年 広瀬公民館会場 8回/年	5	水富公民館	実施した
				食事や栄養などに関する内容の講座などを実施し、情報発信するとともに、学習の場や体験の場を提供します。	・お茶の楽しみ方エトセトラ(お茶の効能や気軽な楽しみ方、お茶を使った料理の紹介・実習) 2回 ・介護予防講座 1回 ・中央寿講座(不足している栄養素を知ろう) 1回 ・野菜充足度測定 1回	4	中央公民館	実施していない
				災害に備えることの大切さを学び、防災意識の向上を図るため、防災用品を配布し、非常食について紹介などを行いました。	【防災教室】 対象:小学生、関係団体 参加者数:87名 実施回数:1回	5	柏原公民館	実施した
				地域児童の学び・遊び・食の事業の中で、地域の大人と子どもと一緒に食事しながら世代間交流を図り、正しい食卓のルールやマナーを会食する機会を提供し食に対する重要性を図ります。	WAKU☆DOKIはっぴー実施 水富公民館会場11回/年 広瀬公民館会場 8回/年	5	広瀬公民館	実施した

2 食育の推進に向けた取組

(1) 食事作り力を高め、心身ともに健康を支えます

ライフ ステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの 実施
					R6年度の対象者、事業名、 参加者数や事業実施回数 等の実績数	達成度 5点満点		
				「人とペットの防災講座」でペットとの避難時の注意事項・しつけ・準備すべき物品の説明。デモ犬によるしつけ体験を実施しました。 「防災講座」狭山市消防団機能別団員の方による実体験の講話、日頃からの備えについての講話を実施しました。	「防災講座」1回 「人とペットの防災講座」1回 実施 参加人数:73人	5	水野公民館	実施していない
				楽しく料理を学習し、仲間づくりや家族との交流に役立てます。	料理で楽しく学ぶ！子ども 料理教室1回 異食文化料理「トルコ料理」 1回	5	狭山台公民館	実施していない
				・小・中学校とも給食指導を通して、主食・主菜・副菜をバランス良く食べることを指導しています。また、小学校では栄養教諭及び学校栄養職員と担任が連携を図り、発達段階に合わせた栄養のバランスについての正しい知識を習得させるとともに朝ごはんの大切さについて指導を行います。 ・避難訓練や社会科、学級活動、総合的な学習の時間などにおける防災教育等で備蓄の大切さを指導しています。	全小中学校23校で推進	5	教育指導課	実施していない
				・小・中学校とも給食指導を通して、主食・主菜・副菜をバランス良く食べることを指導しています。また、小学校では栄養教諭及び学校栄養職員と担任が連携を図り、発達段階に合わせた栄養のバランスについての正しい知識を習得させるとともに朝ごはんの大切さについて指導を行います。 ・避難訓練や社会科、学級活動、総合的な学習の時間などにおける防災教育等で備蓄の大切さを指導しています。	全小中学校23校で推進	5	学校	実施していない
				試食会等でバランスの良い食事や副菜料理の大切さについて伝えます。	「大きな釜で給食づくり体験」(内容:調理場内の見学、とうもろこしの皮むき体験、野菜の洗浄体験、切裁機を使った野菜切裁の見学、釜での調理体験、鶏ガラスープと和風だしの試飲、とうもろこしの配缶体験、野菜の温度計測体験、給食の試食)を開催した。参加者11組23名。	5	給食センター	実施した

2 食育の推進に向けた取組

(1)食事作り力を高め、心身ともに健康を支えます

ライフステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの実施
					R6年度の対象者、事業名、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点		
乳幼児期	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>空腹や満腹の様子を感じとって、授乳や食事を進めます。</li> <li>大人の「夜型」の生活にならないよう生活リズムを整えます。</li> <li>イオン飲料、乳酸菌飲料、ジュース等の甘味飲料よりお茶や水を選びます。</li> <li>「主食・主菜・副菜」を体験できるように食事を整えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マタニティスクールや乳幼児健診等において、空腹等、子どもの様子を感じ取って授乳や食事を進めることを支援します。</li> <li>「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムと習慣が、発育・発達に大切であることを伝えます。</li> <li>歯科保健事業と連携し、マタニティスクールや乳幼児健診時に、適切な菓子や甘味飲料のとり方を伝えます。</li> <li>乳幼児健診や子育て支援の場において、「主食・主菜・副菜」の組み合わせ方と大切さについて伝えます。</li> <li>保育所給食を「主食・主菜・副菜」で提供します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援講座において食をテーマに取り上げ、保護者自身が食事の楽しさを感じられるような内容の講座を行います。</li> </ul>	対象者：市内在住で子育て中の方 事業名：ちゃっぼ子育て講座「五感を使っておいしさ発見」 事業実施回数：1回 参加者数：10名	5	総合子育て支援センター	実施した
				<ul style="list-style-type: none"> <li>季節に合った食材や子供の状況を共有するため、市の管理栄養士と各園の調理員と保育所職員で年6回献立会議を行っています。</li> <li>「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムが整っている習慣が大切であることを、クラスだより等で知らせたり、送迎時や懇談会などで伝え啓蒙しています。</li> <li>日頃、保護者からの食事に関する相談にも、真摯に応えるように努めています。</li> <li>一日保育参加時に給食の試食の提供を行い、味付けや量、年齢に合った食材の形態等を伝えています。</li> <li>園庭解放にきた保護者に給食の見本を見せたり、乳児の食べている様子を見てもらったりすることを通し、乳幼児期の食と生活リズムについて伝えています。</li> <li>新狭山プレイス事業にて、保育所の1日の様子から乳児期の生活リズムの大切さを伝えたり、実際の給食見本を見てもらいながら地域に住む子育てで家庭への支援を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>懇談会 年2回</li> <li>クラスだより 随時</li> <li>献立会議(5, 7, 9, 10, 1, 3月実施)</li> <li>地域の乳幼児をもつ保護者(園庭開放)</li> <li>子育て講座 年1回</li> </ul>	5	保育幼稚園課 保育所	実施した
				<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所給食では「主食・主菜・副菜」の組み合わせを基本給食とし提供しています。</li> <li>保育幼稚園課と各園代表者が集まり、献立を検討しています。</li> <li>給食だよりで「早寝・早起き・朝ごはん」等の生活リズムの大切さを掲載しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>献立会議 年6回</li> <li>調理会議 年6回</li> <li>給食だより・献立表 年12回</li> </ul>	5	保育幼稚園課	実施していない
				<ul style="list-style-type: none"> <li>睡眠の大切さと共に生活リズムを整えることを懇談会等の保護者の集會時に直接伝えたり、専門家による指導(歯科衛生士)を行います。また、園だより・クラスだよりを通じて周知を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>懇談会4回</li> <li>保健ニュースの掲示</li> <li>専門家の指導1回</li> <li>園だより、クラスだより12回</li> </ul>	4	入間川幼稚園	実施していない
				<ul style="list-style-type: none"> <li>「早寝、早起き、朝ごはん」の啓発とともに、食の大切さを園だより等の通信にて保護者へ知らせます。</li> <li>幼児に早寝の習慣が大切なことを懇談会などの場を捉えて保護者へ知らせます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園だより、学級だより等の通信発行22回</li> <li>懇談会3回</li> </ul>	4	水富幼稚園	実施していない
				<ul style="list-style-type: none"> <li>マタニティスクール、ばくばくベビー、乳幼児健診時の離乳食講習会・食育講習会、乳幼児の依頼健康教育にて実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マタニティスクール(6回67人)</li> <li>ばくばくベビー(6回52人)</li> <li>離乳食講習会(乳幼児相談時12回延べ186人、4か月児健診時15回334人)</li> <li>食育講習会(1歳6か月健診時16回833人、3歳児健診時16回890人)</li> <li>依頼健康教育(8回63人)</li> </ul>	5	保健センター	実施していない

2 食育の推進に向けた取組

(1) 食事作り力を高め、心身ともに健康を支えます

ライフ ステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの 実施
					R6年度の対象者、事業名、 参加者数や事業実施回数 等の実績数	達成度 5点満点		
学 童 ・ 思 春 期	13	・「主食・主菜・副菜」をそろえた食事をします。 ・積極的に副菜料理を食べます。 ・生活リズムが夜型にならないようにします。 ・食事づくりやその手伝いを積極的にします。 ・ファストフードやスナック菓子等を極力控え、家庭の食事をおいしく食べられるようにします。 ・健康なボディイメージを持ち、過度なダイエットや肥満の害について理解します。	・保健体育、家庭科、学級活動、総合的な学習の時間などにおいて食の指導を行います。 ・学校給食を「主食・主菜・副菜」で提供します。 ・ホームページで献立表等の情報を伝えます。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムと習慣が発育・発達に大切であることを伝えます。 ・家庭科の学習や学級活動等を通じて、家庭での食事づくりの手伝いを促します。 ・基本的な食事づくりを指導します。 ・給食を生きた教材として活用します。 ・食事づくり力を高めるための情報を伝え、学習の場を提供します。 ・身体測定や健康カードを活用し、適正体重について指導します。 ・過度のダイエットや肥満の害について啓発します。	リーフレットの配布やデジタル連絡ツールの配信により、児童と保護者へ情報提供、啓発を実施します。また、児童の夏休み期間に学習の場を提供します。	朝食啓発リーフレット(小学1年生、小学5年生、中学1年生) 食事づくり力アップリーフレット(小学3年生、中学1年生) 子どもお弁当教室(3回42人)	5	保健センター	実施していない
				小・中学校とも給食指導を通して、主食・主菜・副菜をバランス良く食べることを指導しています。また、小学校では栄養教諭及び学校栄養職員と担任が連携を図り、発達段階に合わせた栄養のバランスについての正しい知識を習得させるとともに朝ごはんの大切さについて指導を行います。	全小中学校23校で推進	5	教育指導課	実施していない
				小・中学校とも給食指導を通して、主食・主菜・副菜をバランス良く食べることを指導しています。また、小学校では栄養教諭及び学校栄養職員と担任が連携を図り、発達段階に合わせた栄養のバランスについての正しい知識を習得させるとともに朝ごはんの大切さについて指導を行います。	全小中学校23校で推進	5	学校	実施していない
				「主食・主菜・副菜」で献立作成し、小中学校の授業、献立表、給食日より等で情報を伝えます。	毎月献立をホームページで公表した。また、小・中学校の授業で合計14校239時間の栄養指導を実施した。	5	学校給食センター	実施していない

2 食育の推進に向けた取組

(1) 食事作り力を高め、心身ともに健康を支えます

ライフステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの実施
					R6年度の対象者、事業名、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点		
青少年期	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に料理をします。</li> <li>健診結果を活用し、食生活の改善に活かします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事づくり力を高めるための情報を伝え、学習の場を提供します。</li> <li>栄養・食生活について学習できる場を提供します。</li> <li>健診結果活用情報の提供と相談・学習の機会を充実します。</li> <li>適正体重を知り、適正体重維持のための具体的な取組方法について、学習の機会を設けます。</li> </ul>	健康診査実施後、受診者の方が食生活の改善を図る取り組みへつなげるためのリーフレットを配付します。	【リーフレットの配付】 特定健康診査及び高齢者健康診査の受診者全員に配付 特定健康診査受診者： 約 9,700枚 後期高齢者健康診査： 約10,000枚	4	保険年金課	実施していない
				特定健康診査受診者のうち、BMIが25以下であるが高血糖の方に対して、生活習慣病の重症化予防を図るため、動実技を中心とした食事と運動講義を行います。 特定保健指導未利用者に対して、身体の状況をより詳しく把握し健体成分測定会を実施し、運動等について個別提案することで、健康意識の向上を図ります。	【非肥満高血糖者対策事業】 対象者：約600人 参加者：75人 【体成分測定会事業】 対象者：約400人 参加者：45人	4	保険年金課 保険センター	実施した
				健康づくりに関係する団体の活動を支援するとともに、その活動の中で食事づくりに関する知識を広めます。栄養・食生活について学習できる場を提供します。	虫歯予防デーやeスポーツイベント等のイベント会場において、飲食物の塩分量や油分の掲示を行い、適切な食生活の周知を実施。	3	健康づくり支援課	実施していない
				各種生活習慣病予防教室、相談などの成人保健事業において実施します。また、公民館などからの健康教育依頼や出前講座などを実施します。	血管いきいき教室(延べ6回 延べ36人) 糖尿病予防教室(延べ6回 延べ55人) 健康はなまる講座(延べ6回 延べ40人) シェイプアップ体操(7回29人) (ここにこランチ(3回17人) 一般健康相談(14回延べ24人) 減量個別相談(22回69人) 依頼健康教育(1回37名)	5	保健センター	実施していない
				社会教育関係団体等との協働事業や研修会を通じ、学習の場を提供します。	「楽しく学ぶ市民講座」にて、親子での料理体験講座を実施。 22名が参加	4	社会教育課	実施した
				子育て講座～管理栄養士さんに学ぶ～(共催：子育てプレイルーム、講師：保健センター管理栄養士)を開催し、講義と簡単おやつ調理デモ、質疑を通して、こどもの食育の大切さを理解してもらうとともに、日頃の食の悩みについて解消してもらう場を提供します。	開催回数1回(奥富公民館調理室) 参加者4名	4	奥富公民館	実施していない

2 食育の推進に向けた取組

(1)食事作り力を高め、心身ともに健康を支えます

ライフステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの実施
					R6年度の対象者、事業名、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点		
				食事や栄養などに関する内容の講座などを実施し、情報発信するとともに、学習の場や体験の場を提供します。	・お茶の楽しみ方エトセトラ(お茶の効能や気軽な楽しみ方、お茶を使った料理の紹介・実習)2回 ・野菜充足度測定 1回	3	中央公民館	実施していない
				キムチづくりを通じて親睦、交流を深めるとともに、腸内環境について学ぶため、キムチ作りの工程を学びながらキムチに含まれる乳酸菌などの役割について学習しました。	【キムチづくり体験教室】 対象:成人一般 参加者数:16名 実施回数:2回	5	柏原公民館	実施した
				楽しく料理を学習し、仲間づくりや家族との交流に役立っています。	料理で楽しく学ぶ!子ども料理教室1回 食文化料理「トルコ料理」1回	5	狭山台公民館	実施していない
高齢期	15	・低栄養の予防のために、主菜のある食事を3食食べます。 ・高齢期の食事についての情報提供と、学習の場を提供します。	・食事をおいしく食べられる場を提供します。 ・高齢期の食事についての情報提供と、学習の場を提供します。	出前講座等の介護予防事業において、自身の食生活を振り返る機会を提供し、食生活の改善や筋力アップを図るために、規則正しい食生活、バランスの取れた食事の重要性を伝えます。	出前講座 開催回数:延べ153回 参加人数:延べ2556人	5	介護保険課	実施していない
				高齢期の栄養摂取の重要性について、健康づくり講座等で市民に周知します。	おりびい健康マイレージ通信を活用し、高齢期の栄養摂取や実践的な食事の工夫などを紹介した。	4	健康づくり支援課	実施していない
				各種生活習慣病予防教室、相談などの成人保健事業において実施します。また、公民館などからの依頼や出前講座などでも実施します。	健康はなまる講座(延べ6回延べ40人) シェイプアップ体操(7回29人) (にこにこランチ(3回17人) 一般健康相談(14回延べ24人) 減量個別相談(22回69人) 依頼健康教育(1回45名) シニアのための献立講座(3回36人)	5	保健センター	実施していない
				子ども大学さやま-いるまにて大学の学食を体験しました。	50名が参加。	4	社会教育課	実施していない
				おくとみ茶話会(共催:社会福祉協議会奥富支部、奥富地区在宅福祉サービスクラス推進委員会)を開催し、催し物を鑑賞しながら参加者同士で楽しくおいしく食事ができる場を提供します。	開催回数1回(奥富公民館ホール) 参加者100名	4	奥富公民館	実施していない
				キューピー(株)による健康教室。食事をする事の大切さや高齢期の食事の摂り方を分かりやすく解説しました。	事業名 第4回ひだまり学級「野菜を楽しみもって健康に!」 対象者 市内在住の65歳以上の方 参加者数 7名 事業実施回数 1回	5	新狭山公民館	実施した

2 食育の推進に向けた取組

(1) 食事作り力を高め、心身ともに健康を支えます

ライフ ステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの 実施
					R6年度の対象者、事業名、 参加者数や事業実施回数 等の実績数	達成度 5点満点		
				食事や栄養などに関する内容の講座などを実施し、情報発信するとともに、学習の場や体験の場を提供します。	・お茶の楽しみ方エトセトラ (お茶の効能や気軽な楽しみ方、お茶を使った料理の紹介・実習) 2回 ・介護予防講座 1回 ・中央寿講座(不足している栄養素を知ろう) 1回 ・野菜充足度測定 1回	4	中央公民館	実施していない
				健康増進、生きがいがづくりに貢献するとともに、参加者の相互交流を深めるため、胃腸の働き、乳酸菌の役割、便からみる健康などを学びました。	【おなか元気教室】 対象:高齢者 参加者数:15名 実施回数:1回	5	柏原公民館	実施した
				オーラルフレイルという食物を噛んだり飲み込んだりする機能低下対策を学びます。	ひろせ寿大学講座/1回・あおば歯科クリニック	5	広瀬公民館	実施した
				・管理栄養士の考えたメニューで調理、会食をして孤食防止を図ります。	「シニア食堂千客万来」 実施回数:11回 参加人数:113人	5	水野公民館	実施した
				高齢者の健康維持を目的とし、栄養バランスのよい食事の基本についての講座を実施しました。	60歳以上対象 東雲大学「充実ライフを食事から」 参加者16名 1回	5	富士見公民館	実施していない
				高齢者の介護予防を目的に、管理栄養士による栄養講座と調理実習を行います。	65歳からの栄養講座3回	5	狭山台公民館	実施していない